

平成19年4月19日

No.1607

率先しよう

国際ロータリー会長 ウィリアム・ビル・ポイド
第2690地区ガバナー 新 宮 彦 助

ハ 事 務 局 ▽	島根県出雲市平田町2280-1	
	平田商工会議所2F	TEL 0853-63-3232
		FAX 0853-63-5365
		IP 050-5204-5816
	A.M. 9:00 ~ P.M.5:00	土・日曜・祝祭日休業
	E-mail hiratarc@hit-5.net	

会 長 加藤喜久 副会長 田中久雄
幹 事 荒木 貫 会 計 金田卓也

例会プログラム

例 会	卓 話 者	演 題
第1607回	出雲科学館館長 曾我部國久様	新燃料 バイオ・エタノール
第1608回	県科学教育振興協会会長 曾我部國久様	実験！エネルギー教育
第1609回	中国電力備島根支社エネルギー広報担当マネージャー 深田裕幸様	世界の原子力発電事情

出 席 報 告

会 員 数	出 席 者 数	欠 席 者 数	出 席 率	前 回 補 正 率
47	40	7 (1)	86.96	81.82

欠 席 者 荒木・園・黒田・大島治・田中浩・堀江 (石原恵)

来 訪 者 竹内 (出雲南)

M U 4/8加藤喜・田中久 (松江東)

幹 事 報 告

1. 例会変更

○大社RC 5/9(水) 6:30~ 早朝例会 (出雲大社清掃奉仕)

ビジター受付 11:30~12:30 事務局

○出雲RC 6/19(火) 18:30~ 夜の例会 (於) ウェルシティ島根

ビジター受付 11:30~12:30 ホテル武志山荘

2. 休 会

○大社RC 5/2(水)

○出雲中央RC 5/7(月)

○出雲RC 5/1・6/26(火)

} 定款により ビジター受付 なし

3. 松江東RC会長 原 光様、20周年実行委員長 小竹原榮吉様より、創立20周年記念式典出席のお礼状をいただきました。

ス マ イ ル

竹内 (出雲南) たびたびお邪魔致します。

藤井・森山 曾我部先生をスピーカーにお迎えして。

加藤喜 園山繁会員の当選をお祝いし、益々のご活躍を期待しております。

曾我部先生をお迎えして。きのうのNHKテレビで、西谷会員の山師として、石見銀山の仕事ぶりが詳しく放送され、感心しました。

渡部 展示会の為早退します。申し訳ございません。

5月10日例会受付当番

田 中 浩 史 ・ 飯 塚 詔 夫 ・ 石 原 輝 男

★松江南クラブ (月) 4/30・5/7 ★出雲クラブ (火) 6/19・5/1・6/26(休) ★平田RAC(第1・3水)
★出雲中央クラブ (月) 5/7(休) ★松江クラブ (水) 5/2 ★松江東クラブ (木)
★松江しんじ湖 (火) ★大社クラブ (水) 5/9・5/2(休) ★出雲南クラブ (金)

会長挨拶

春になり、植物も一斉に芽吹き始め、生命の息吹を感じる季節になりました。野菜作りも本番を迎えました。昨年の秋に植えましたエンドウや玉ねぎも大きくなって、まもなくすると収穫できそうです。また先日はジャガイモの種芋を植え、にんじん、サニーレタス、バジルなどのタネを蒔きました。成長が楽しみです。

私たちはビタミンやミネラル、食物繊維の殆どを野菜から得ています。最近ではポリフェノールやアントシアニンなど野菜に含まれる様々な微量栄養素が健康維持や生活習慣病の予防に重要な役割を果たすこともわかって来ました。いま日本では、野菜不足の食事などが原因で生活習慣病を発症する人がだんだん増えているそうです。一方アメリカでは、減少傾向が見られるといえます。その背景には、野菜の摂取量の変化があるといわれます。私たち日本人が一日に取る野菜の量は、平成に入ってから年々減少し、そして10年前からはついに逆転してアメリカ人より少なくなっており、その差は年々開き続けているといわれています。アメリカでは国の政策によって、国民一人当たりの野菜や果物の消費量は年々増え続けているといえます。

健康づくりの基本であります新鮮な野菜を毎日の食事で積極的に食べるよう心がけたいものです。

スピーチ

21世紀は環境ビジネスの時代 ～何故バイオエタノールなのか？～

島根大学特任教授、出雲科学館 館長 曾我部 國 久



1. はじめに

20世紀の環境問題、高度成長期による公害から地球規模の環境問題へ
地球温暖化、オゾン層破壊、熱帯雨林破壊、海洋汚染、化石燃料枯渇
21世紀はエネルギー問題、食料問題、人口問題、ゴミ問題

2. 環境ビジネスとは

二酸化炭素排出権（エコグリーン権、植林事業）、廃棄物処理関係、
新エネルギー関係（風車、バイオマス発電、水素燃料）の経済効果

3. バイオマスとは

バイオマス（生物起因の木材や植物、残飯、糞尿等）によるメタン発酵、発電
バイオアルコール（米や芋、コーン類の糖質からのアルコール発酵で生成されるアルコールをさす）

4. バイオディーゼル燃料（BDF）

化石燃料の枯渇延命のために、燃費の良いディーゼル油（軽油）の活用促進で炭素浮遊微粒子の減少
と税収アップの狙い

ディーゼル油に1%（E1）から10%（E10）までのエタノールを混入させて使用。安全性を考慮し、
アメリカはE3を認定。日本も追従する構え

アメリカはコーン（世界的な食料供給源）中心、日本は芋と米が中心となる。

米は減反政策での補助金削減を狙い、米つくりの復活で食料確保の一石二鳥

1俵1,200円の価格米、1万5,000トンの原料米年間6,700キロリットル

新潟県で減反（不作付け）水田が7,600ha（約6万トンの収穫見込み）

現在2,500円/5kgのブランド米から1俵1,200円（20円/kg）の原料米の確保が課題